

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2012年1月23日設定）
運用方針	<p>ターゲット・イヤー*を想定し、運用の時間経過とともに資産配分を変更することにより、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。</p> <p>※ターゲット・イヤーとは、個人が想定するライフイベント（退職など）の時期を意味し、当ファンドにおける安定運用開始時期を指します。なお、原則として、ターゲット・イヤーの決算日の翌日を「安定運用開始時期」とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲット・イヤーに向けて、安定性資産の投資割合を高め、徐々に安定運用に移行します。 ターゲット・イヤーまでの残存期間が長いほど、値上がり益の獲得を重視した運用を行います。 ターゲット・イヤーに接近するにしたがって、収益性資産（株式等）への投資割合を徐々に減らし、安定性資産（債券等）の比率を高めることでファンド全体のリスクを徐々に減らしていきます。 市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、3カ月に1回基本投資割合へ戻す調整を行います。 基本投資割合の変更を、家計や市場の構造変化等を考慮して、原則として年に1回行います。 <p>当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。</p>
主要運用対象	<p>主としてETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を通じて、国内株式、先進国株式、新興国株式、オルタナティブ資産（ヘッジファンド、コモディティ、リート（不動産投資信託））及び日本債券及び世界の国債等、広範な各資産クラスへ分散投資します。</p> <p>なお、投資対象とするETF及び投資信託証券は別に定めるものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式や債券等の伝統的資産と値動きが異なる、オルタナティブ資産もポートフォリオに組入れることで、信託財産の安定的な収益獲得をめざします。 当ファンドが組入れる投資対象ファンドに対し、為替ヘッジを行う場合があります。 <p>なお、当初はヘッジファンド及びコモディティを投資対象としているETFに対し、為替ヘッジを行う方針です。ただし、資金動向、市場動向等により、委託会社が適切と判断した場合には為替ヘッジを行う投資対象ファンドを変更する場合があります。</p>
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。
分配方針	年1回決算時に分配方針に基づき分配を行います。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等と売買益等（評価益を含みます）から、収益分配方針に基づいて分配します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

運用報告書（全体版）

第4期

（決算日 2015年9月14日）

セレブライフ・ストーリー2015

追加型投信／内外／資産複合

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「セレブライフ・ストーリー2015」は、2015年9月14日に第4期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00



ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2012年1月23日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 46
1期(2012年9月14日)	10,286	0	2.9	98.0	124
2期(2013年9月17日)	11,251	0	9.4	94.7	84
3期(2014年9月16日)	11,820	0	5.1	98.6	89
4期(2015年9月14日)	11,806	0	△ 0.1	96.4	86

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

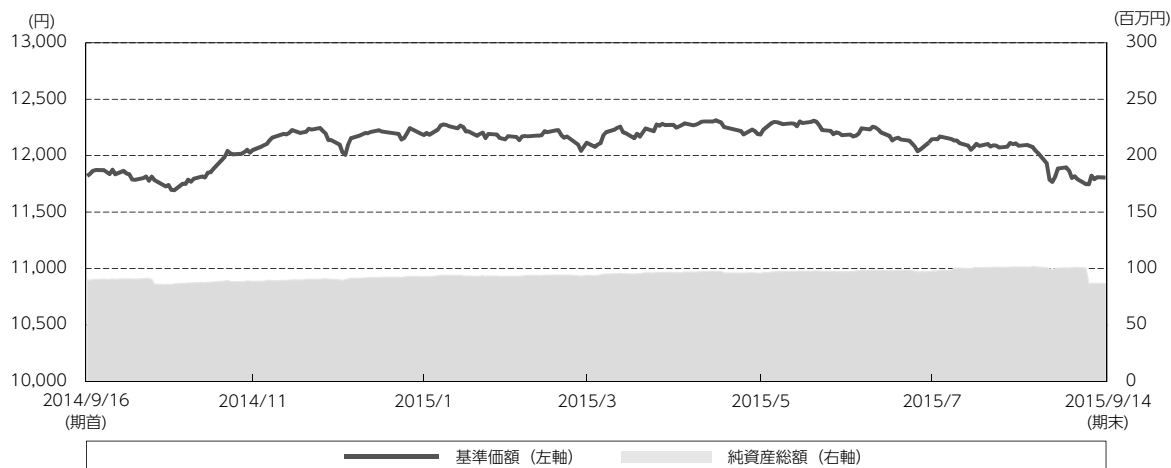
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2014年9月16日	円 11,820	% —	% 98.6
9月末	11,842	0.2	98.1
10月末	11,884	0.5	95.8
11月末	12,227	3.4	97.5
12月末	12,214	3.3	95.2
2015年1月末	12,214	3.3	96.6
2月末	12,208	3.3	96.0
3月末	12,195	3.2	96.1
4月末	12,294	4.0	96.8
5月末	12,289	4.0	97.1
6月末	12,135	2.7	95.4
7月末	12,086	2.3	95.5
8月末	11,896	0.6	93.7
(期末) 2015年9月14日	11,806	△ 0.1	96.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2014年9月17日から2015年9月14日まで）

○基準価額等の推移



期 首：11,820円

期 末：11,806円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： △0.1%

(注1) 当ファンドでは、ベンチマークを採用しておりません。また、適当な参考指数もないため当ファンドのみ表記しております。

(注2) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

日銀による追加金融緩和によって国内株式が上昇したほか、為替が円安となり、外貨資産の円換算額が増加したこと等が主な上昇要因となりました。

下落要因

原油価格の下落や、米国の利上げ観測の高まりによって新興国からの資金流出懸念を背景に、新興国株式と新興国債券が下落したこと等が主な下落要因となりました。

○投資環境

【株式】

（国内）

期首から2015年7月にかけては、米国株式市場の上昇や日銀による追加金融緩和などによって円安となり、輸出関連企業の業績改善期待の高まりを背景に日本株は上昇基調となりました。8月以降は中国経済の先行き不透明感、世界的なデフレ懸念、円高、原油安などの要因により急落したものの、通期では小幅上昇となりました。

（先進国）

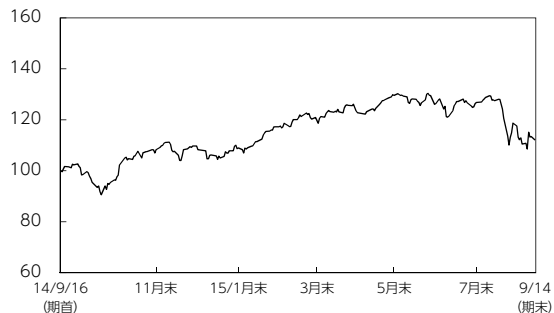
期首から2015年6月にかけては、米国の堅調な景気回復を背景に米国株が上昇し、欧州では欧州中央行(ECB)が追加金融緩和を行ったことなどから堅調に推移しました。しかし、2015年6月以降は、ギリシャ情勢の不透明感の高まりや、原油安、中国経済の先行き懸念などが相次いだことから、世界的なリスク回避姿勢が強まったことを背景に下落基調となり、通期でも小幅下落となりました。

（新興国）

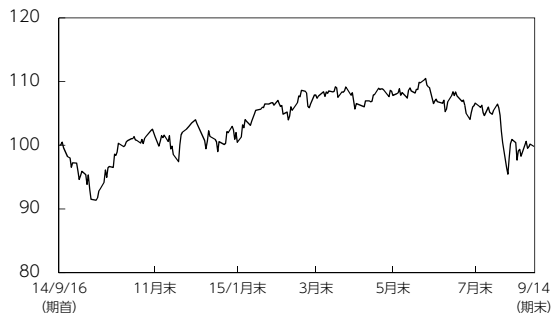
期首から2014年12月にかけては、商品市況の下落によって、商品輸出や一次産品への依存度が高い国が大幅下落したことを主因に下落基調となりました。その後、年明けから2015年4月にかけては、商品市況の回復や中国における直通車(上海-香港株式相互取引制度)などによって上昇に転じましたが、5月から期末にかけては、ギリシャ情勢や中国経済への先行き不透明感から再び下落基調となり、通期では大幅下落となりました。

<組入投資信託証券の推移：株式>

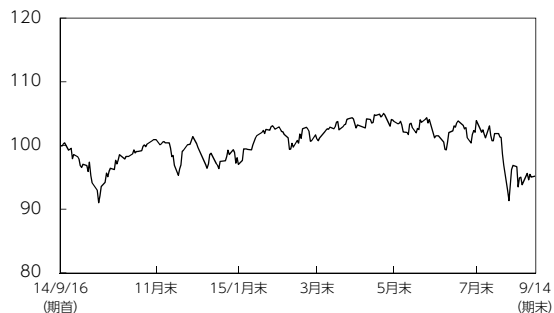
上場インデックスファンドTOPIX



バンガード・スモールキャップETF



iシェアーズ MSCIコクサイ ETF



バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国) スモールキャップETF



バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF



出所：Bloomberg のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 期首を 100 として指数化 (分配込み) したものです。

【債券】

（国内）

日銀の追加金融緩和による国債購入、原油安などを背景としたインフレ率の低下観測から国内債券利回りは低下（価格は上昇）基調となりました。2015年2月に入ると国内株式が堅調に推移したことで安全資産としての債券需要が低下し、米国の利上げ時期、ギリシャ政局の不透明感から一進一退の展開となりましたが、欧米の金利上昇を受けて債券利回りは上昇（価格は下落）しました。期末にかけては中国景気の減速懸念や原油価格下落などを材料に利回りは低下し、通期では利回りは小幅な低下（価格は上昇）となりました。

（先進国）

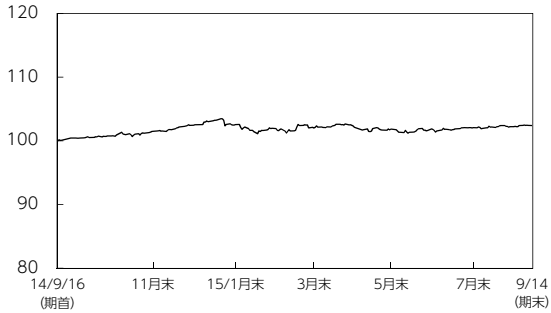
期首から2015年1月にかけては、世界的な株安を受けたリスク回避の動きとなったほか、米国では早期利上げ観測が後退したこと、欧州ではECBによる量的金融緩和を受けて利回りは低下（価格は上昇）しました。2月に入ると、米国では雇用統計が市場予想を上回ったことをきっかけに早期利上げ観測が再浮上し、欧州においてもウクライナ情勢の鎮静化や株式市場の上昇を背景に、債券利回りは上昇（価格は下落）しました。その後しばらくは膠着状態が続きましたが、5月に入るとISM非製造業景況指数が市場予想を上回ったほか、イエレン米連邦準備制度理事会（FRB）議長が米国の利上げ時に長期金利が急上昇するリスクについて言及したことを背景に債券利回りは上昇基調となりました。7月に入るとギリシャや中国など外部環境の悪化から債券利回りは低下基調となり、通期では利回りは低下（価格は上昇）しました。

（新興国）

新興国債券市場は、前期末比で大幅に債券利回りが上昇（価格は下落）しました。国別ではまちまちの結果となりましたが、一次産品への依存度が高いロシアやブラジルなどの国では、商品市況の下落によって経常赤字が拡大し、自国通貨が急落、デフォルトの可能性を背景に債券利回りが上昇しました。原油価格の反発と共に一時、債券が買い戻される局面もみられましたが、原油価格の再下落や中国経済の先行き不透明感などが重しとなり、債券利回りは上昇して期末を迎えました。通期では利回りは上昇（価格は下落）しました。

<組入投資信託証券の推移：債券>

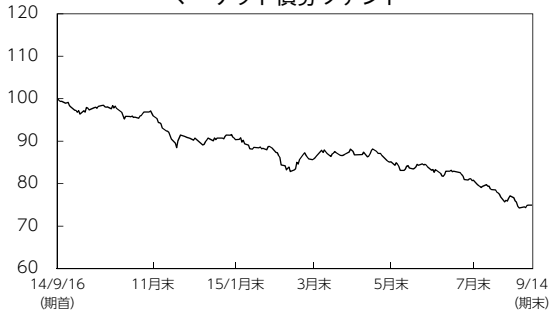
MUAM日本債券インデックスファンド



MUAM外国債券インデックスファンド



iシェアーズ JPモルガン・ドル建てエマージング・ マーケット債券ファンド



出所：Bloomberg のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成

(注1) 期首を 100 として指数化 (分配込み) したものです。

(注2) iシェアーズ JPモルガン・ドル建てエマージング・マーケット債券ファンドは 2015年9月より組入れております。

【オルタナティブ】

(原油)

期首から2015年1月にかけては、需要の低下や原油在庫が豊富な状況において、産油国要人による減産を行わない旨の発言が相次いだことから下落基調となりました。2015年2月から5月は、米国の堅調な経済指標を背景に上昇する一方、中国経済成長率の鈍化が意識されると下落するなど方向感のない推移となりました。6月から期末にかけては、国際エネルギー機関(IEA)が世界の原油需要を引き下げたほか、イランが経済制裁解除後に原油輸出を拡大する意向を示したことなどから再び下落基調となり、通期では大幅下落となりました。

(金)

金は前期末比で下落しました。世界同時株安の影響から年末年始に安全資産としての需要が高まり、急騰する局面がありましたが、概ねドル/円の逆相関の値動きとなり、通期では小幅な下落となりました。

(リート)

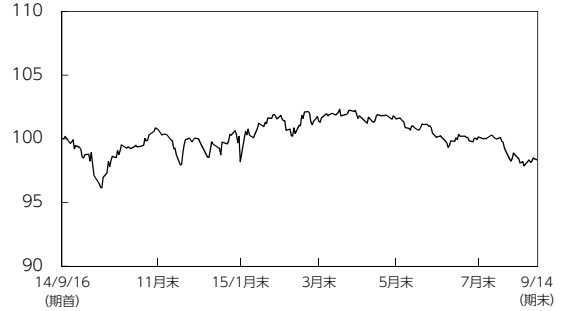
期首から2015年1月下旬にかけては、上昇基調で推移しました。米国株式市場の下落などを受けて、米長期国債利回りが低下したことや、米国のゼロ金利政策の長期化観測、ECBによる量的金融緩和観測が強まったことなどが主な上昇要因となりました。2月から期末にかけては、米長期国債利回りが再び上昇したことから弱含みとなりました。米連邦公開市場委員会(FOMC)委員による政策金利の見通しが下方修正されたことをきっかけに一時的に反発する局面がみられたものの、概ね下落基調となり、通期ではほぼ横ばいとなりました。

＜組入投資信託証券の推移：オルタナティブ＞

バンガード・リートETF



IQ ヘッジ マルチストラテジー トラッカーETF



iシェアーズ ゴールド・トラスト



iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・
インデックス・トラスト

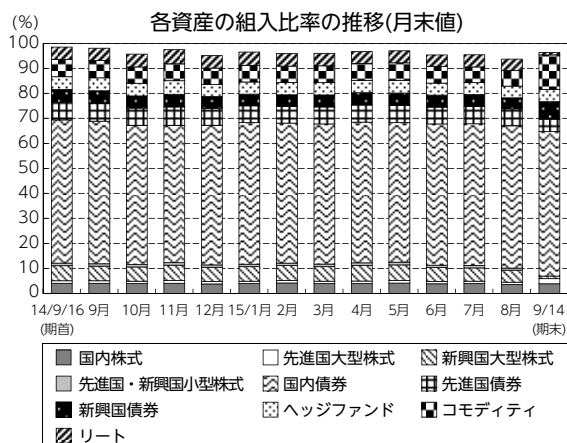


出所：Bloomberg のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
 (注) 期首を 100 として指数化 (分配込み) したものです。

【為替】

ドル／円は107円台で始まり、ドル強含みで上昇基調となりました。2014年10月中旬では、世界的な景気減速懸念から一時は105円台までリスク回避の円買いが入りましたが、米国QE3の終了や、日銀による追加金融緩和などを背景に、急速に円売り・ドル買いが進み2014年末には120円台を突破しました。2015年に入り、原油価格の急落やスイスフランの対ユーロ上限撤廃の発表などが円買い材料となり、ドル／円は117円台まで値を戻しましたが、原油価格の下げ止まりや米長期金利の上昇とともに再び120円台まで円売りが進みました。その後、120円を挟んだ膠着感の強い相場展開が続きました。2015年5月中旬には、米経済指標が市場予想を上回る結果となった事を受けて、米長期金利が上昇し再びドル買いが進みました。6月上旬には125円台まで円安が進みましたが、黒田日銀総裁の円安に対する否定的なコメントやギリシャ情勢への懸念が再燃したことを受けて急反落し、120円台まで円高が進みました。その後は、米国の早期利上げ観測などによって円安基調となり、125円台まで値を戻しましたが、中国を起点とした世界的な株安を背景にリスクオフの動きが強まり、120円台で期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ



モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、国内及び海外のETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を行い、投資比率の合計は、90%以上の高位を保ちました。また、ヘッジファンド及びコモディティを投資対象としているETFに対し、為替ヘッジを行いました。

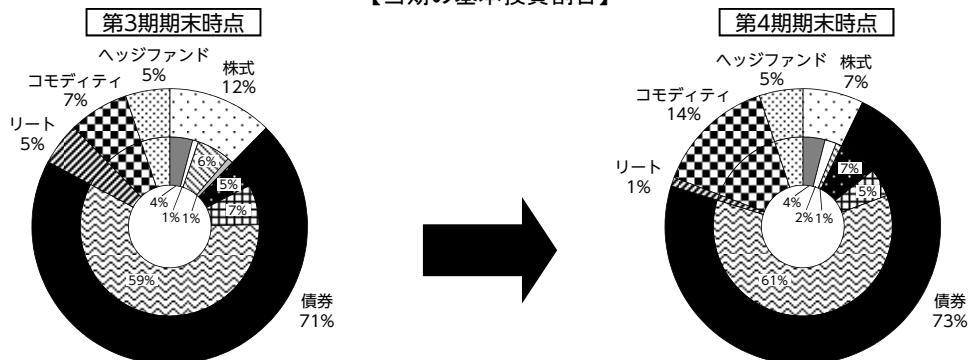
(注) 各資産の詳細につきましては、17ページ以降のご参考組入投資信託証券の概要をご覧ください。

為替ヘッジの状況				
年 月 日	①外貨建資産	②為替ヘッジ	通貨エクスポージャー (①-②)	通貨
(期首)2014年9月16日	30.1%	10.7%	19.4%	米ドル
9月末	29.8%	12.3%	17.5%	米ドル
10月末	29.2%	11.7%	17.5%	米ドル
11月末	31.2%	12.4%	18.8%	米ドル
12月末	28.7%	11.6%	17.1%	米ドル
2015年1月末	29.2%	11.3%	17.9%	米ドル
2月末	29.0%	11.3%	17.7%	米ドル
3月末	29.3%	11.4%	17.9%	米ドル
4月末	29.7%	11.7%	18.0%	米ドル
5月末	30.2%	12.2%	18.0%	米ドル
6月末	28.3%	11.5%	16.8%	米ドル
7月末	27.9%	11.2%	16.7%	米ドル
8月末	26.4%	11.0%	15.4%	米ドル
(期末)2015年9月14日	29.7%	18.8%	10.9%	米ドル

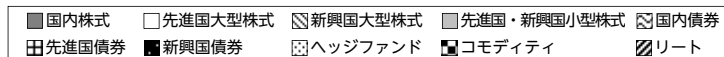
(注1) 純資産総額に対する比率です(為替ヘッジ比率は純資産総額に対する予約外貨評価額の比率です。)

(注2) 通貨エクスポージャーとは、外貨建資産のうち、為替変動のリスクを受ける割合のことを指します。

【当期の基本投資割合】



※年1回の基本投資割合の見直しを2015年9月に行いました。



【当期末の組入投資信託証券の状況】

投資対象	投資信託証券の名称	通貨	当期の騰落率	組入比率
株式	国内 上場インデックスファンド TOPIX	円	12.1%	3.9%
	先進国 大型 iシェアーズ MSCI コクサイ ETF	米ドル	-7.1%	2.0%
	新興国 大型 バンガード・FTSE・エマージング・マーケット ETF	米ドル	-23.7%	1.0%
債券	国内 MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	円	2.4%	57.8%
	先進国 MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	円	8.6%	5.0%
	新興国 iシェアーズ JPモルガン・ドル建てエマージング・マーケット債券ファンド	米ドル	-5.0%	7.0%
オルタナティブ	ヘッジファンド IQ ヘッジ マルチストラテジー トラッカーETF	米ドル	-2.9%	5.0%
	コモディティ iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト	米ドル	-43.8%	2.9%
	コモディティ iシェアーズ ゴールド・トラスト	米ドル	-10.4%	10.8%
	リート バンガード・リートETF	米ドル	-0.2%	1.0%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 騰落率は期首からの評価単価及び投資開始時からの評価単価の騰落率です。

(注3) iシェアーズ JPモルガン・ドル建てエマージング・マーケット債券ファンドは2015年9月より組入れております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○分配金

当期は基準価額水準等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては今後の運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第4期
	2014年9月17日～ 2015年9月14日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,806

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

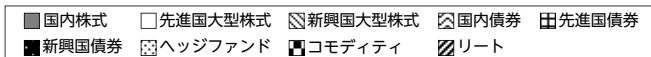
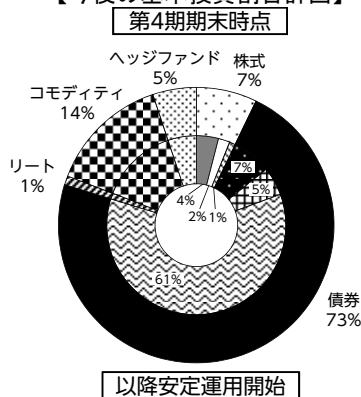
○今後の運用方針

ETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を通じて、株式（国内、先進国大型株、新興国大型株）、債券（国内、先進国、新興国）、オルタナティブ資産（ヘッジファンド、コモディティ、リート）の資産に分散投資を行います。

株式や債券等の伝統的資産と値動きが異なるオルタナティブ資産もポートフォリオに組入れることで、信託財産の安定的な収益獲得を目指します。また、引き続き、ヘッジファンド及びコモディティを投資対象としているETF に対し、為替ヘッジを行います。なお、家計や市場の構造変化等を考慮し、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け年1回基本投資割合の変更を行います。

なお、当ファンドは安定運用時期に入ったため、年一回の基本投資割合を見直す際には、組入資産の変更を最小限に抑え、安定的に運用を行います。

【今後の基本投資割合計画】



(注) 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

○1万口当たりの費用明細

(2014年9月17日～2015年9月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	57 (26) (26) (5)	0.473 (0.215) (0.215) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	6 (6)	0.048 (0.048)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用)	45 (17) (28)	0.368 (0.140) (0.228)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	108	0.889	
期中の平均基準価額は、12,123円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2014年9月17日～2015年9月14日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付		
		口数	金額	口数	金額	
国内	MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	687,760	956	2,567,519	3,530	
	MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	8,469,191	10,029	10,703,998	12,651	
	上場インデックスファンドTOPIX	300	455	800	1,169	
外国	アメリカ	VANGUARD SMALL-CAP ETF	3	0.3599	40	4
		VANGUARD REIT ETF	47	3	511	37
		ISHARES GOLD TRUST	4,037	44	297	3
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	109	4	1,040	36
		ISHARES S&P GSCI COMMODITY INDEXED TRUST	736	14	65	1
		ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	150	7	25	1
		ISHARES JP MORGAN EM BOND FD	463	49	—	—
		IQ HEDGE MULTI-STRAT TRACKER ETF	123	3	332	9
		VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP ETF	3	0.29816	43	4
		MARKET VECTORS EMERGING MARKETS LOCAL CURRENCY BOND ETF	335	6	2,145	38

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○利害関係人との取引状況等

(2014年9月17日～2015年9月14日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年9月14日現在)

国内投資信託証券

銘柄名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
MUAM 外国債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	3,112,528	4,322	5.0
MUAM 日本債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	42,184,394	50,077	57.8
上場インデックスファンドTOPIX	2,300	3,390	3.9
合 計	45,299,222	57,790	66.7

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄名	口 数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
VANGUARD SMALL-CAP ETF	—	—	—	—
VANGUARD REIT ETF	99	7	883	1.0
ISHARES GOLD TRUST	7,224	77	9,334	10.8
VANGUARD FTSE EMERGING MARKETS ETF	217	7	891	1.0
ISHARES S&P GSCI COMMODITY INDEXED TRUST	1,222	21	2,553	2.9
ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	281	14	1,749	2.0
ISHARES JP MORGAN EM BOND FD	463	49	6,022	7.0
IQ HEDGE MULTI-STRAT TRACKER ETF	1,230	35	4,315	5.0
VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP ETF	—	—	—	—
MARKET VECTORS EMERGING MARKETS LOCAL CURRENCY BOND ETF	—	—	—	—
合 計	10,736	213	25,752	29.7

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年9月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	83,542	94.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,830	5.5
投 資 信 託 財 産 総 額	88,372	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (25,964千円) の投資信託財産総額 (88,372千円) に対する比率は29.4%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月14日における邦貨換算レートは、1ドル=120.65円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年9月14日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	104,571,083円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,117,245
投資信託受益証券(評価額)	83,542,391
未 収 入 金	18,911,447
(B)負 債	17,942,832
未 払 金	17,132,640
未 払 解 約 金	470,960
未 払 信 託 報 酬	231,232
そ の 他 未 払 費 用	108,000
(C)純 資 産 総 額(A - B)	86,628,251
元 本	73,374,537
次 期 繰 越 損 益 金	13,253,714
(D)受 益 権 総 口 数	73,374,537口
1万口当たり基準価額(C / D)	11,806円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	76,065,853円
期中追加設定元本額	22,430,149円
期中一部解約元本額	25,121,465円

○損益の状況 (2014年9月17日～2015年9月14日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	591,430円
受 取 配 当 金	657,359
受 取 利 息	△ 65,929
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 452,476
売 買 益	5,991,462
売 買 損	△ 6,443,938
(C)信 託 報 酬 等	△ 794,471
(D)当期損益金(A + B + C)	△ 655,517
(E)前期繰越損益金	5,827,917
(F)追加信託差損益金	8,081,314
(配 当 等 相 当 額)	(3,642,546)
(売 買 損 益 相 当 額)	(4,438,768)
(G)計 (D + E + F)	13,253,714
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	13,253,714
追 加 信 託 差 損 益 金	8,081,314
(配 当 等 相 当 額)	(3,642,546)
(売 買 損 益 相 当 額)	(4,438,768)
分 配 準 備 積 立 金	5,827,917
繰 越 損 益 金	△ 655,517

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(7,425,797円)および分配準備積立金(5,827,917円)より分配対象収益は13,253,714円(10,000口当たり1,806円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○約款変更のお知らせ

- 運用報告書(全体版)について、電磁的方法により提供することを可能とするため、信託約款に所要の変更を行いました。
- 信託契約の解約及び変更等に係る書面決議について、要件の緩和に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
- 書面決議に反対した受益者による受益権の買取請求について、規定の適用除外に伴い信託約款に所要の変更を行いました。
(変更日:2014年12月1日)

〈ご参考〉 組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
上場インデックスファンドTOPIX	国内株式	TOPIX(東証株価指数)	0.088%	日興アセット マネジメント株式会社

組入上位10銘柄	比率
トヨタ自動車	4.66%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.92%
三井住友フィナンシャルグループ	1.70%
みずほフィナンシャルグループ	1.52%
日本電信電話	1.51%
ソフトバンクグループ	1.47%
本田技研工業	1.47%
日本たばこ産業	1.31%
KDDI	1.29%
ソニー	1.02%

出所：日興アセットマネジメント株式会社の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年7月31日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ MSCIコクサイ ETF	先進国大型株式	MSCI KOKUSAI(コクサイ)・インデックス	0.250%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
APPLE INC	2.37%
BLK CSH FND TREASURY SL AGENCY	1.56%
EXXON MOBIL CORP	1.13%
MICROSOFT CORP	1.12%
WELLS FARGO & CO	0.90%
JOHNSON & JOHNSON	0.88%
GENERAL ELECTRIC CO	0.87%
JPMORGAN CHASE & CO	0.82%
NESTLE SA-REG	0.75%
NOVARTIS AG	0.74%

出所：BlackRock, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年6月30日時点の比率です。

組入上位業種	比率
金融	21.12%
ヘルスケア	14.09%
情報技術	13.47%
一般消費財・サービス	12.23%
資本財・サービス	9.90%
生活必需品	9.89%
エネルギー	7.84%
素材	5.00%
公益事業	3.10%
電気通信サービス	3.09%

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	新興国大型株式	FTSEエマージング・インデックス	0.150%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	3.1%
Tencent Holdings Ltd.	2.9%
China Mobile Ltd.	2.0%
China Construction Bank Corp.	1.9%
Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	1.7%
Naspers Ltd.	1.5%
Bank of China Ltd.	1.4%
Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.	1.0%
Petroleo Brasileiro SA	1.0%
China Life Insurance Co. Ltd.	0.9%

組入上位10カ国	比率
中国	28.4%
台湾	14.1%
インド	10.8%
南アフリカ	9.4%
ブラジル	9.1%
メキシコ	4.9%
ロシア	4.5%
マレーシア	4.3%
タイ	2.6%
インドネシア	2.4%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2015年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	国内債券	NOMURA-BPI総合インデックス	0.1512%	三菱UFJ国際投信株式会社

種別組入比率	比率
国債	80.3%
地方債	5.7%
政府保証債	7.3%
金融債	0.9%
普通社債	5.2%

組入上位10銘柄	比率
第117回利付国債(5年)	1.2%
第116回利付国債(5年)	1.1%
第333回利付国債(10年)	1.1%
第122回利付国債(5年)	1.0%
第285回利付国債(10年)	1.0%
第329回利付国債(10年)	1.0%
第332回利付国債(10年)	1.0%
第334回利付国債(10年)	0.9%
第106回利付国債(5年)	0.9%
第305回利付国債(10年)	0.9%

出所：三菱UFJ国際投信株式会社の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2015年5月12日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	先進国債券	シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)	0.2052%	三菱UFJ国際投信株式会社

組入上位10カ国	比率
アメリカ	41.4%
イタリア	9.8%
フランス	9.5%
イギリス	8.4%
ドイツ	7.6%
スペイン	5.4%
ベルギー	2.6%
オランダ	2.5%
カナダ	2.3%
オーストラリア	1.7%

組入上位10銘柄	比率
2.5 T-NOTE 240515	0.5%
2 T-NOTE 250215	0.5%
2.375 T-NOTE 240815	0.5%
2.625 T-NOTE 201115	0.4%
1.625 T-NOTE 190630	0.4%
2.125 T-NOTE 210815	0.4%
3.625 T-BOND 430815	0.4%
1.625 T-NOTE 190831	0.4%
1 T-NOTE 170915	0.4%
2.25 T-NOTE 241115	0.4%

出所：三菱UFJ国際投信株式会社の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2015年5月12日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ JPモルガン・ドル建てエマージング・マーケット債券ファンド	新興国債券	JPモルガン エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・コア・インデックス	0.400%	BlackRock, Inc.

組入上位10カ国	比率
フィリピン	5.45%
トルコ	5.44%
メキシコ	5.15%
インドネシア	5.04%
ブラジル	4.88%
コロンビア	4.28%
ロシア	4.26%
ハンガリー	4.06%
南アフリカ	3.86%
ポーランド	3.59%

組入上位10銘柄	比率
RUSSIAN (FEDERATION OF) RegS	1.77%
ARGENTINA REPUBLIC OF	1.17%
POLAND (REPUBLIC OF)	1.03%
URUGUAY (ORIENTAL REPUBLIC OF)	1.03%
PETRONAS CAPITAL LTD. RegS	0.94%
POLAND (REPUBLIC OF)	0.92%
PERU (REPUBLIC OF)	0.92%
PERU (REPUBLIC OF)	0.91%
HUNGARY (REPUBLIC OF)	0.86%
IVORY COAST RegS	0.84%

出所：BlackRock, Inc. の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2015年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
IQ ヘッジ マルチストラテジー トラッカーETF	ヘッジファンド	IQ ヘッジ マルチストラテジー インデックス	0.970%	IndexIQ Advisors LLC

組入上位種別	比率
Short-Term Treasury Bond Funds	29.9%
Aggregate Bond Funds	26.5%
Money Market Fund	10.2%
Currency Harvest Fund	8.9%
U.S. Large Cap Equity Funds	7.3%
U.S. Small Cap Equity Funds	7.2%
Senior Loan Funds	7.1%
Equity Funds	5.8%
Emerging Equity Funds	1.9%
Real Estate Funds	1.8%
Currency Fund	1.2%

出所：IndexIQ Advisors LLCの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2015年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・ インデックス・トラスト	コモディティ	S&P GSCI トータル・リターン指数	0.750%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
TREASURY BILL	20.1%
TREASURY BILL	17.6%
TREASURY BILL	14.0%
TREASURY BILL	13.0%
TREASURY BILL	8.0%
TREASURY BILL	7.3%
TREASURY BILL	7.2%
TREASURY BILL	4.6%
TREASURY BILL	4.5%
TREASURY BILL	0.7%

出所：BlackRock, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2015年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ ゴールド・トラスト	コモディティ	LBMA金価格	0.250%	BlackRock, Inc.

出所：BlackRock, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年6月30日時点のデータです。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・REIT ETF	米国REIT	MSCI US REIT インデックス	0.120%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
SIMON PROPERTY	8.42%
PUBLIC STORAGE	4.31%
EQUITY RESIDENTI	3.90%
HEALTH CARE REIT	3.44%
AVALONBAY COMMUN	3.26%
VENTAS INC	3.18%
PROLOGIS INC	2.98%
BOSTON PROPERTIE	2.70%
HCP INC	2.55%
VORNADO RLTY TST	2.36%

出所：The Vanguard Group, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2015年7月31日時点の比率です。

上記投資対象ファンドは、第4期期末時点のものです。将来の市場構造等の変化によっては、投資対象とする資産またはスタイルを見直す場合があります。